

これがオススメ！ 高学年向き

読み聞かせ本

学習指導要領で読み聞かせがすすめられて、読み聞かせについてのたくさんの本が出版されています。また、ブックリストもたくさん出ていますが、さて実際に子どもたちに読もうと思うと、どの本がいいのか、どうやって読んであげたらいいのか、困ってしまいます。「これなら楽しく読み聞かせができるよ」という本と読み方を紹介しましょう。

学校生活は、子どもも教師も毎日とても忙しいです。その中で、子どもの心を育てていくことはなかなか難しく、また、成果がすぐに表れにくいので、頑張る気持ちがかくじけそうになってしまいます。

そんな時にこの絵本を読むと、人の心の優しさを再認識し、明日を、未来を信じようという気持ちになれます。

今回紹介する「やくそく」の表紙絵では、女の子が座ってドングリを触っています。この女の子に心ひかれながら読み進めていくと、彼女の行動や気持ちの変化に、切なくなったり、応援したくなったりします。

読み聞かせを始めると、子どもたちから「怖い街の話じゃないの」という声があがります。カバンの中にドングリがたくさん入っていたという言葉からは

「森になっちゃう」というつぶやきが聞こえてきました。

女の子がドングリを埋めるころ、絵の中にだんだんと明るい色が増えていくことに気づいている子どももいました。私の言葉や絵から、話を想像しながら聞いていることが伝わってきました。

今年は、信じられないような悲しい事件を聞くことが多かったような気がします。そのたびに、小さい時から、相手の立場や気持ちを思いやる心を大事に育てていかなければいけないと強く思いました。

このドングリのように一つひとつ、子どもたちの心の中に良い本のタネを埋めて、大人になった時、子どもたちの心に寄り添ってくれることを願って「読み聞かせ」をしていきませんか。



やくそく

ニコラ・デイビス＝文
ローラ・カーリン＝絵
さくまゆみこ＝訳
(B L 出版)